

令和4年度大野市休日急患診療所運営協議会 会議概要

令和4年11月7日（月）午後7時～
結とぴあ201・202号室

1 開会

2 市長あいさつ

3 会長・副会長の選任

会 長：松田委員（大野市医師会）

副会長：高井委員（大野市医師会）

4 会長あいさつ

5 議題

（1）報告事項（前年度業務報告）

①歳入歳出決算 （資料1）

②休日急患診療所の利用状況 （資料2）

○事務局：資料1、資料2に基づき説明

○主な意見等

・令和2年度と比較して、受診者数は増加しているとのことであるが、救急搬送が減っているのはどうしてか。重症患者の搬入が減っているのか。

⇒救急救命士の配置や、ドクターヘリの運用開始によるものと考えられる。

⇒また、患者の状態や治療継続の必要性などから、医療機関選択を現場で救急隊が行えるためと考えている。

③休日急患診療所への搬送状況（大野市消防本部） （資料3）

○藤田委員：資料3に基づき説明

・救急救命士の配置や、ドクターヘリの活用、また土曜日の当直が無くなったことなどから、休日急患診療所への救急搬送は減少傾向にあると考えられるが、休日夜間に休日急患診療所があると思うと心強いところである。

④放射線業務の状況（福井県放射線技師会） （資料4）

○宮下委員：資料4に基づき説明

(2) 協議事項（本年度業務について）

①歳入歳出予算

（資料5）

○事務局：資料5に基づき説明

○主な意見等

- ・マイナンバーカードリーダーによるオンライン資格確認用端末は導入したのか。また、利用者はいるのか。

⇒10月1日より利用開始している。利用者は現在1名である。

(3) その他

新型コロナウイルス感染症に関する受診状況と対応について（資料6）

○事務局：資料6に基づき説明

○主な意見等

- ・今後、新型コロナウイルス感染症と同時にインフルエンザの流行が懸念されているが、診療所としてどのように対応していくのか。現在行っている問診票だけで判断するのは難しいのではないか。

⇒これまでどおり問診を徹底し、県外への往来や会社・家族等での感染状況などから判断し、感染症棟を利用して診察を行うことに変わりはないが、流行状況を念頭に置きながら、医師会と相談し対策をとっていきたい。限られたスタッフや、他院から派遣医師をお願いして診療していることなどから、当診療所で検査を行うことは難しいと現在のところ考えている。

- ・説明を聞いて理解は出来た。コロナウイルス、インフルエンザとも緊急性は無いと考えられることから、診療所内での感染が懸念されるなら診察も行わない。状況を見ながらこれまでどおりの診察を行うということになる。

- ・3) 受診・相談センターとの連携状況で、センターからの紹介とは何か。

⇒診療所に受診等の問い合わせがあり、問診を行った結果、新型コロナ総合相談センターに繋いだが戻ってきたケースなどである。

- ・医師診察後センターを紹介とは何か。

⇒患者の容態や問診などから、診察した医師の判断でコロナウイルス感染症が疑われる場合、再度医師が自らセンターへ連絡した件数である。

6 閉会